

## 製造請負・派遣事業動向調査(平成27年7月度)結果について

### 【調査の概要】

#### ① 調査の目的

業界の健全化を図り、業界の発展に資することを目的として、会員企業の業況判断、売上げ動向、雇用人員その他時宜にかなった事項について四半期ごとに調査する。

#### ② 調査時期

この調査は、平成27年7月1日現在の状況について、7月9日～7月30日に実施した。

#### ③ 調査の対象

当協会の正会員(89社)を対象とした。  
(回答企業数70社、回答率78.7%)。

#### ④ 結果表 別紙

#### 用語の説明

【スタッフ社員】：製造業務等に直接従事する労働者

【プロパ社員】：製造業務等には直接従事しないで、間接業務に従事する労働者

## 総 論

～業況判断D Iは引き続き高い水準にある。～

その一方で、人手不足は一層深刻な課題となっている。

## 【結果の概要】

### 1. 判断項目

#### (1) 業況判断

製造請負・派遣事業の平成27年7月の業況判断D I（「良い」と回答した企業の割合－「悪い」と回答した企業の割合）は、プラス38で平成27年4月調査の同D I（プラス30）を8ポイント上回った。

先行き（3か月後）の業況判断D Iは、プラス28となっている。

最近の業況判断D Iの推移をみると、7月はプラス38でこのところの減少傾向から上昇に転じ、依然として高い水準にある。原油安の定着や国内大手製造業の円安定着による国内生産回帰の動きもあって需要は増大しており、緩やかな回復基調が続いている。判断材料として、引き合い・新規取引先の増加、既存取引先の発注量増加がある一方、人材不足が深刻化し需要に応えられない状況が生じていたり、求人経費の増による収益の悪化や人員確保難等の労働力不足の不安をあげている。

#### 【最近の業況】の判断例

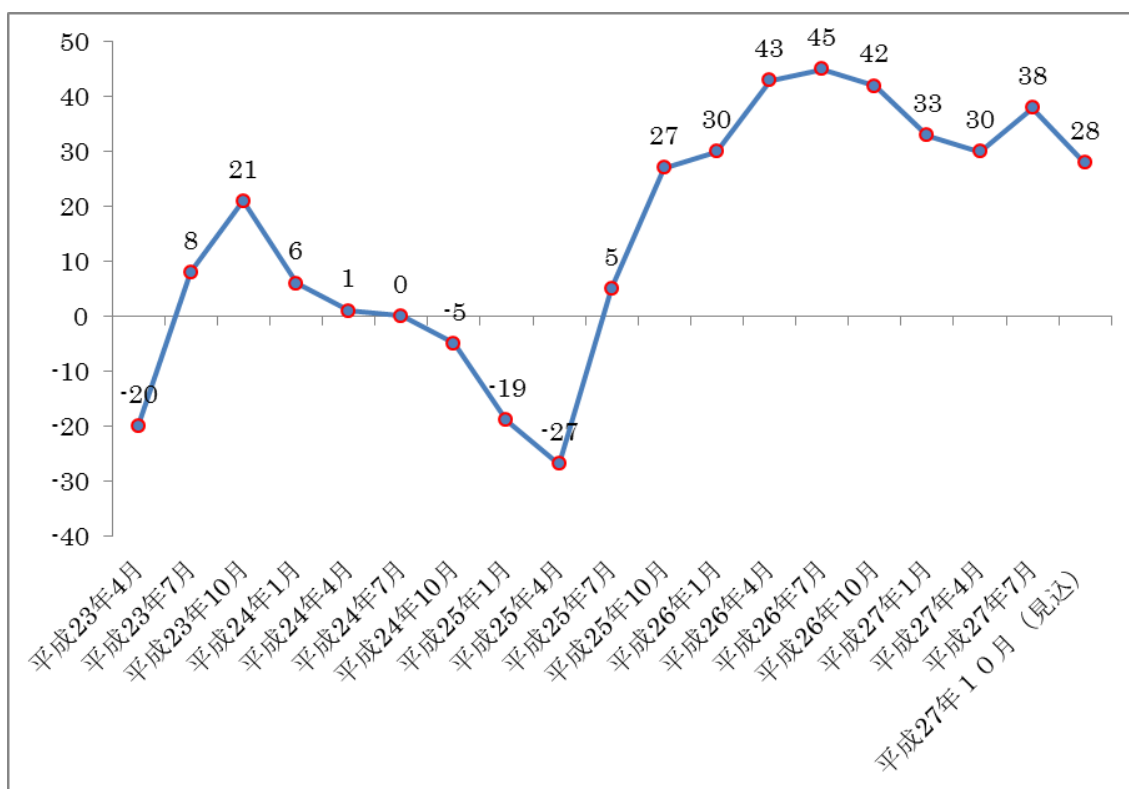
- ・顧客からの受注が順調に推移している。
- ・既存顧客からの増員要請、新規取引契約が増加している。
- ・各業種とも生産動向が回復傾向を示し、要員が増加している。
- ・採用難が継続し、採用コストも上昇している。
- ・スタッフ社員不足で、顧客注文に応じきれない。

先行き見込はプラス28と引き続き高い水準にあるが、先行不透明の懸念から減少に転じた。（図1）。判断材料として、取引先からの発注量は見込めるが、人手不足により需要に見合うスタッフ数の確保がさらに困難になると見ており、業況への懸念をあげている。

#### 【先行きの業況】の判断例

- ・既存顧客、新規顧客ともに引き続きオーダーが発生している。
- ・取引先の生産も引き続き好調で、売り上げ見通しも明るい。
- ・人材確保が難しく、受注を処理しきれないことから先行不透明である。
- ・事業所の新設、増員がある一方、既存事業所の減産もある。
- ・業況に大きな変化はなく、この状況が続く。

(図1) 製造請負・派遣業況判断D I



## (2) 取引先数判断

平成27年7月の取引先数判断D I（「増加」と回答した企業の割合－「減少」と回答した企業の割合）は、プラス44で平成27年4月調査（プラス41）に対して3ポイント上回った。

先行き（3か月後）の取引先判断D Iは、プラス39（7月比、マイナス5ポイント）となっている。

## (3) 雇用人員判断

### ○ スタッフ社員

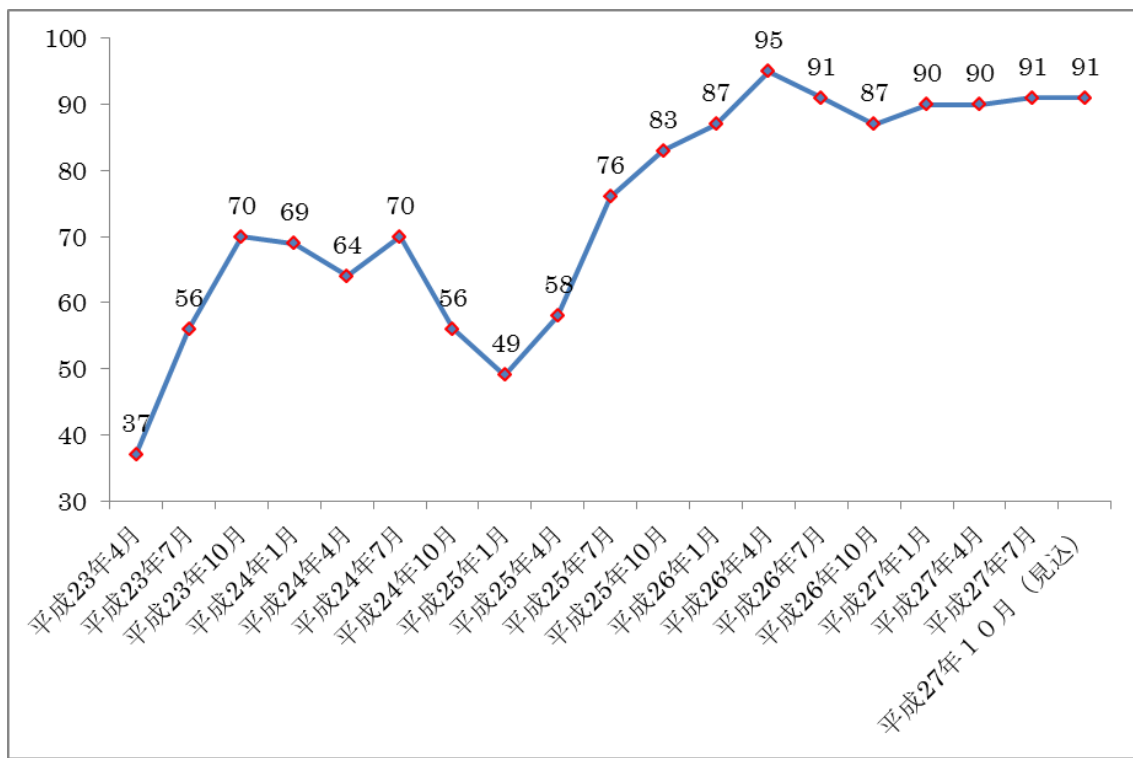
平成27年7月のスタッフ社員判断D I（「不足」と回答した企業の割合－「過剰」と回答した企業の割合）はプラス91と平成27年4月調査（プラス90）に対して1ポイント上回った。

先行き（3か月後）のスタッフ社員判断D Iは、プラス91の見込みとなっている。

スタッフ社員判断D Iは平成25年1月以降期を追って高まっていたが、平成26年4月以降も現況及び先行きは依然として高止まりの状況となっている。これは需要に対して供給が追い付かない状態が続いていることか

ら、スタッフ社員の不足感は引き続き極めて高い水準にある。(図2)。

(図2) スタッフ社員判断D Iの推移



○ プロパ社員

平成27年7月のプロパ社員判断D Iはプラス30と平成27年4月調査(プラス31)を1ポイント下回った。

先行き(3か月後)のプロパ社員判断D Iはプラス37となっている。

## 2. 四半期項目

### (1) 売上額

平成27年4～6月期の会員企業69社全体の売上額は、前年同期に比べ12.1%増であった。会員企業の売上額の対前年同期増減率の分布をみると、0～9%が31.9%と最も多く、次いで10～19%及び▲9～▲0%が同数で20.3%となっている。

### (2) 雇用人員

平成27年6月末現在の会員企業69社の雇用人員数は105,573人であった。内訳を見ると、スタッフ社員が99,211人で全体の94.0%を占めている。スタッフ社員は派遣社員が70,240人(全体の66.5%)、請負社員が28,971人(同27.4%)となっている。プロパ社員は6,362人、外国人労働者は7,180人であった。

(以上)

## 製造請負・派遣事業動向調査 結果表—平成27年7月度調査—

一般社団法人 日本生産技能労務協会

## 1. 判断項目

## (1) 業況判断

規模	社数	区分	平成27年4月調査		平成27年7月調査			
			最近	先行き	最近	先行き		
						変化幅	変化幅	
A群	23 (23)	良い	43	57	61	18	48	-13
		さほど良くない	57	43	39	-18	52	13
		悪い	0	0	0	0	0	0
		業況判断DI	43	57	61	18	48	-13
B群	47 (48)	良い	29	29	32	3	28	-4
		さほど良くない	65	65	64	-1	64	0
		悪い	6	7	4	-2	9	5
		業況判断DI	23	23	28	5	19	-9
合計	70 (71)	良い	34	38	41	7	34	-7
		さほど良くない	62	58	56	-6	60	4
		悪い	4	4	3	-1	6	3
		業況判断DI	30	34	38	8	28	-10

(注) 1. 「良い」、「さほど良くない」及び「悪い」の各数値は、回答社数に占めるそれぞれの回答割合(%)を示す。

2. 「業況判断DI」は、「良い」(回答社数構成比)－「悪い」(回答社数構成比)。

3. 「最近」は回答時点を、「先行き」は3か月後を示す。

4. 「最近」の変化幅は、前回調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比。

(以下、取引先判断及び雇用人員判断についても同様。)

5. 規模区分は平成27年1～3月期の売上げ額が10億円以上の企業をA群、10億円未満の企業をB群とした。(以下、同じ。)

6. 社数欄は平成27年7月調査の回答企業数で、カッコ内の数値は平成27年4月調査の回答企業数を表す。

(以下、同じ。)

## (2)取引先数判断

規模	社数	区分	平成27年4月調査		平成27年7月調査			
			最近	先行き	最近	先行き		
						変化幅	変化幅	
A群	23 (23)	増加	52	48	48	-4	43	-5
		ほぼ同じ	39	52	52	13	57	5
		減少	9	0	0	-9	0	0
		取引先数判断DI	43	48	48	5	43	-5
B群	47 (48)	増加	42	44	43	1	36	-7
		ほぼ同じ	56	56	57	1	64	7
		減少	2	0	0	-2	0	0
		取引先数判断DI	40	44	43	3	36	-7
合計	70 (71)	増加	45	45	44	-1	39	-5
		ほぼ同じ	51	55	56	5	61	5
		減少	4	0	0	-4	0	0
		取引先数判断DI	41	45	44	3	39	-5

(注) 同一企業でも工場が別個なら別カウント。

別紙

(3)雇用人員判断

1)スタッフ社員

規模	社数	区分	平成27年4月調査		平成27年7月調査			
			最近	先行き	最近	先行き		
						変化幅	変化幅	
A群	23 (23)	不足	91	91	96	5	96	0
		適正	9	9	4	-5	4	0
		過剰	0	0	0	0	0	0
		スタッフ社員判断DI	91	91	96	5	96	0
B群	47 (48)	不足	90	92	89	-1	89	0
		適正	8	8	11	3	11	0
		過剰	2	0	0	-2	0	0
		スタッフ社員判断DI	88	92	89	1	89	0
合計	70 (71)	不足	91	92	91	0	91	0
		適正	8	8	9	1	9	0
		過剰	1	0	0	-1	0	0
		スタッフ社員判断DI	90	92	91	1	91	0

(注) スタッフ社員は、製造業務等に直接従事する労働者。



## 2)プロパ社員

規模	社数	区分	平成27年4月調査		平成27年7月調査			
			最近	先行き	最近	先行き		
						変化幅	変化幅	
A群	23 (23)	不足	52	57	52	0	57	5
		適正	43	39	43	0	39	-4
		過剰	4	4	4	0	4	0
		プロパ社員判断DI	48	53	48	0	53	5
B群	47 (48)	不足	29	31	30	1	34	4
		適正	65	69	62	-3	62	0
		過剰	6	0	9	3	4	-5
		プロパ社員判断DI	23	31	21	-2	30	9
合計	70 (71)	不足	37	39	37	0	41	4
		適正	58	59	56	-2	54	-2
		過剰	6	1	7	1	4	-3
		プロパ社員判断DI	31	38	30	-1	37	7

(注)プロパ社員は、製造業務等には直接従事しないで、間接業務に従事する労働者。

別紙

2. 四半期項目

(1) 売上げ額

1) 平成27年4～6月期売上げ額の  
対前年同期増減率

規模	社数	平成27年4～6月 期の対前年同期増 減率(%)
A群	22	13.5%
B群	47	6.0%
合計	69	12.1%

2) 売上げ額増減率の分布(構成比)

売上げ額増減率階級	構成比(%)		
	A群	B群	合計
社数	22	47	69
20%～	27.3	10.6	16.0
10%～19%	31.8	14.9	20.3
0%～9%	22.7	36.2	31.9
▲9%～▲0%	13.6	23.4	20.3
▲19%～▲10%	4.6	14.9	11.6
～▲20%	0.0	0.0	0.0
計	100.0	100.0	100.0

(2) 雇用人員

平成27年6月30日現在

労働者の属性	A群		B群		合計	
	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)	労働者数 (人)	構成比 (%)
スタッフ社員数	78,945	94.0	20,266	93.8	99,211	94.0
派遣社員数	54,080	64.4	16,160	74.8	70,240	66.5
請負等社員数	24,865	29.6	4,106	19.0	28,971	27.4
プロパ社員数	5,024	6.0	1,338	6.2	6,362	6.0
総労働者数	83,969	100.0	21,604	100.0	105,573	100.0
内、外国人労働者数	6,093	7.3	1,087	5.0	7,180	6.8